

令和5年度 磐田市立田原小学校 学校評価書

☆:磐田市教育共通評価指標 ○:本校学校評価指標 回答:A(当てはまる) B(まあ当てはまる) C(あまり当てはまらない) D(あてはまらない)

評価指標 (括弧内は対象及び目標値)	A+Bの%	考察・改善策
☆1 授業の内容がよくわかる。	96.4	<p>・児童は、おおむね学習について理解し、進んで取り組んでいると回答している。しかし、保護者は「進んで家庭学習に取り組んでいる」と考えている割合は、67.7%にとどまり、学習内容の定着についても不安を抱えている声も多い。</p> <p>・教員は、児童がおおむね学習を理解している（B評価）と感じているが、児童が進んで学習に取り組んだり、協同的に学んだりするような授業づくりに課題を感じている。</p> <p>・個人端末の活用については、児童も教員も活用スキルは向上している。一方で、長時間の使用が健康に与える影響を危惧する声やインターネットの適切な使用について学ぶ必要を感じている。</p> <p>・「外国語の授業が楽しい」と感じている児童の割合が、昨年度より8%増加した。ALTと打ち合わせを行い、担任が授業に参加することによって子供の意欲が高まったことが考えられる。</p> <p>・保護者は、「学校で目指そうとしている子どもの姿や教育内容について知っている」の肯定値が80%台であった。</p> <p>・地域への興味が、児童は85%、教員は80%にという結果になり、両者とも地域と関連した学習を推進する必要がある。</p> <p>○基礎的な学習内容を定着する授業と協同的な課題解決をする授業をバランスよく実施していく。そのために、教員同士が授業を見合い、授業や子供の様子について協議していくことが必要である。</p> <p>○個人端末の使用については、高学年で講座を実施し、適切な使用を考えていく時間をつくる。</p> <p>○地域学習については、交流センターやCSC、みどりの会の方々と連携して、学習活動を実施していく。</p>
☆2 進んで先生に聞いたり、自分で調べたりして学習している。	90.9	
☆3 学校が楽しい。	95.5	
☆4 端末などを使って、自分の考えをまとめたり、相手に自分の思いを伝えることができる。	92.3	
☆5 外国語活動の授業が楽しい。	90.9	
☆6 友だちや先生と英語で質問したり、答えたりすることができる。	88.0	
☆7 学校に相談できる人がいる。	95.9	
☆8 私たちの学級（学校）は、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。	94.5	
☆9 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。	85.9	
☆1 先生は子どものことを理解して指導にあたっている。	92.0	<p>・地域への興味が、児童は85%、教員は80%にという結果になり、両者とも地域と関連した学習を推進する必要がある。</p> <p>○基礎的な学習内容を定着する授業と協同的な課題解決をする授業をバランスよく実施していく。そのために、教員同士が授業を見合い、授業や子供の様子について協議していくことが必要である。</p> <p>○個人端末の使用については、高学年で講座を実施し、適切な使用を考えていく時間をつくる。</p> <p>○地域学習については、交流センターやCSC、みどりの会の方々と連携して、学習活動を実施していく。</p>
☆2 学校で目指そうとしている子どもの姿や教育内容について知っている。	83.9	
☆1 子どもたちは該当学年の学習内容を理解している。	93.3	<p>○基礎的な学習内容を定着する授業と協同的な課題解決をする授業をバランスよく実施していく。そのために、教員同士が授業を見合い、授業や子供の様子について協議していくことが必要である。</p> <p>○個人端末の使用については、高学年で講座を実施し、適切な使用を考えていく時間をつくる。</p> <p>○地域学習については、交流センターやCSC、みどりの会の方々と連携して、学習活動を実施していく。</p>
☆2 個に応じたきめ細かな支援・指導ができています。	100	
☆3 子どもたちは、地域の人たちと、学校や地域で関わっている。	80.0	
☆4 端末などを活用した授業改善に取り組んでいる。	93.3	

自己評価 (A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要)

本校の重点	目標・取組		評価指標	A+Bの%	自己評価	考察・改善策
学びを楽しむ子	授業を楽しみ、学びを深める ・児童が主体となって取り組むことができる学習計画の工夫 ・タブレットの効果的な活用（授業、家庭学習）	児童	授業を楽しむことができたか。	93.2	B	・児童は、学校での授業を楽しむことができていると多く回答しているが、家庭学習や自主学習まで自主的に取り組むまでには至っていない。授業と家庭学習の在り方について検討していきたい。 ・タブレットの活用は進んでいるが、児童が主体的となって学ぶ授業づくりに課題がある。話し合い活動などを取り入れた、協同的な授業づくりについて、教員同士が情報共有をしながら研修を重ねていきたい。 ・協同的な学びの基盤となる、友達同士や教員の話を聞く力を高めていきたい。学習活動において、教員も子供の思いや願いを聞くことを大切にしていく。 ・基礎的、基本的な学習内容の定着の時間も大切にしていきたい。
		教員	児童が楽しんで取り組める授業構想を立てることができたか。	86.7		
		保護者	お子さんは進んで家庭学習に取り組むことができているか。	67.7		
	友達の考えを大切にする ・児童の意見・考えを生かした授業展開や学級経営 ・話し合いを基盤とした授業・学級づくり	児童	友達の意見に反応を返すことができたか。	93.6	B	
		教員	友達の意見を大切にする学級づくりができたか。	86.0		
		保護者	お子さんと学校や友達のことについて会話をしているか。	93.4		
心も体も元気な子	仲間とのつながりを深める ・QUを活用し、学級経営に生かす ・「特別の教科道徳」「学級活動」の充実 ・縦割り活動、異学年交流の充実	児童	田原っ子と仲良く生活することができた。	95.0	A	
		教員	学級づくりを中心に、子供たちのつながりを深める働きかけが	96.8		
		保護者	お子さんは、仲間を大切にする心や思いやりの心が育っているか。	93.3		
	「スタイル（こまめな手洗い、机の上をきれいに、食べるときは静かに、友達と密を避けて）の生活様式を守り、安心安全な生活に努める ・児童が安心安全な学校生活を送るための働き掛け	児童	「手洗いをこまめに」、「机の上をきれいに」に気を付けて生活することができた。	94.5	B	
		教員	換気や「手洗いをこまめに」、「机の上をきれいに」に気を付けて生活するように働き掛けた。	80.0		
		保護者	お子さんは手洗いなど、コロナウイルス感染症予防の習慣が身に付いているか。	80.7		
学校関係評価委員から		まとめ				
・プレゼンテーションソフトを使うなど、個人端末の活用が進んでいる。 ・地域との交流を進めて欲しい。 ・10月に行事が集中していたので、バランス良く配置して欲しい。 ・思いやりや自分で考える力を付けてほしい。		・個人端末の活用を継続して進めて行く。 ・コミュニティ・スクール・コーディネーターと田原交流センターとの連携を深め、地域の方々との交流活動を推進していく。 ・高学年の宿泊を伴う行事を1学期に設定した。 ・ピアサポートを取り入れ、子ども同士が支え合う環境をつくっていく。 ・多くの教職員の目で、子どもを支援できる体制づくりを行う。				